

科目ナンバー： BC6055

授業コード： 2230600500

講義科目名称： ボランティア活動

英文科目名称： Introduction for Volunteer

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1－4学年	1 単位	自由選択
担当教員			
◎原等子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】 【氏名】 ◎原 等子 cn.ac.jp 実務経験のある教員が担当します	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 303	【メールアドレス】 naohara@niigata-
	【大学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎			

到達目標	1. ボランティア活動の原点と現在の多種多様なボランティア活動の現状を学ぶ。 2. ボランティア・コーディネートの役割を理解する。 3. 人々の日々の暮らしと生活、社会活動におけるボランティア活動の意義と、保健医療福祉のかかわり、看護職としてかかわる必要性について考えることができる。
------	--

授業概要	様々なボランティア活動の実践などを通じて、ボランティア活動の社会への意義を考えることができる。そのために必要な基本的な作法と姿勢を学ぶ。また、看護職や専門職のボランティアへのかかわり、関与のあり方、ボランティア・コーディネートの重要性と役割を学ぶ。
------	--

授業計画	1 4/7 V	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：ボランティアの基本 学修内容：1. ボランティアの基本 2. ボランティア活動とは 事前学修：自身のボランティア経験について振り返ってみましょう。 事後学修：これからやってみたいボランティア活動について考え、調べていきましょう。 備考：原
	2 4/21 V	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：ボランティア活動の心構え 学修内容：1. ボランティア活動始めるには 2. ボランティア・マナー 3. 地域とボランティア 事前学修：どのようなボランティア活動の種類があるのか調べてみましょう。 事後学修：ボランティア活動にエントリして、実際にやってみましょう。連休や夏休みが狙い時ですね。 備考：ゲスト
	3 SL	授業内容 授業形態：実践 学修課題：ボランティア活動 学修内容：3回以上のボランティア活動を実践 ボランティア活動報告の提出 事前学修：活動のための事前準備がないか、先方や先輩、教員などに確認して、準備をして参加しましょう。 事後学修：活動を振り返り、自分の活動の課題を整理し、次に活かしていきましょう。 備考：
	4 SL	授業内容 授業形態：グループワーク 学修課題：ディスカッション ボランティア活動と保健医療福祉 学修内容：1. ボランティア活動の学びの整理 2. 看護職とボランティアについて考える 事前学修：実際に自分が体験したボランティア活動について、プレゼン資料を作成し振り返り整

	5 SL	理しましょう。 事後学修：他学生の活動内容を知り、今後もボランティア活動を積極的に進めていきましょう。 備考：原 授業内容 授業形態：実践 学修課題：ボランティア活動 学修内容：3回以上のボランティア活動を実践 ボランティア活動報告の提出 事前学修：活動のための事前準備がないか、先方や先輩、教員などに確認して、準備をして参加しましょう。 事後学修：活動を振り返り、自分の活動の課題を整理し、次に活かしていきましょう。 備考：
	6 12/23 III	授業内容 授業形態：グループワーク 学修課題：ディスカッション ボランティア活動と保健医療福祉 学修内容：1. ボランティア活動の学びの整理 2. 看護職とボランティアについて考える 事前学修：実際に自分が体験したボランティア活動について、プレゼン資料を作成し振り返り整理しましょう。 事後学修：他学生の活動内容を知り、今後もボランティア活動を積極的に進めていきましょう。 備考：原
	7 12/23 IV	授業内容 授業形態：グループワーク 学修課題：ディスカッション ボランティア活動と保健医療福祉 学修内容：1. ボランティア活動の学びの整理 2. 看護職とボランティアについて考える 事前学修：実際に自分が体験したボランティア活動について、プレゼン資料を作成し振り返り整理しましょう。 事後学修：他学生の活動内容を知り、今後もボランティア活動を積極的に進めていきましょう。 備考：原
	8 12/23 V	授業内容 授業形態：グループワーク 学修課題：ディスカッション ボランティア活動と保健医療福祉 学修内容：1. ボランティア活動の学びの整理 2. 看護職とボランティアについて考える 事前学修：実際に自分が体験したボランティア活動について、プレゼン資料を作成し振り返り整理しましょう。 事後学修：他学生の活動内容を知り、今後もボランティア活動を積極的に進めていきましょう。 備考：原
評価方法、評価基準	到達目標1～3に対し、3回以上のボランティア活動の記録(50%)、講義やボランティア活動、ディスカッションを含めた学びレポート（50%）により評価する。	
必携図書	指定しない	
参考図書・資料等	講義時に提示する	
受講、課題、資料配布等のルール	既定のレポートの提出およびディスカッションの参加をもって単位を認定します。	
教員からのメッセージ	レッツボランティア 4年間通年科目であり、学年を超えた経験交流もできます。 先輩たちの体験もたくさん聞いて、地域の人とたくさん触れ合い、経験値を高めよう。	
オフィスアワー	在室時対応可能 メール等での相談も可能	